



水のわ

第133号(令和7年6月)

発行者 長崎県石木ダム建設事務所
〒859-3605 川棚町百津郷394-2
TEL: 0956-82-5109
FAX: 0956-83-2944

梅雨・台風シーズンが到来、大雨にご注意ください！

これから秋にかけては、前線や台風の影響により河川の増水や低い土地の浸水、土砂災害が起こりやすくなる季節です。

川棚川においても、これまで発生した氾濫はいずれもこの時期に発生しています。



浸水する川棚駅前商店街（平成2年7月）

大雨に関する防災情報を活用しましょう

災害から命を守るためには、日頃からの備えが大切です。お住いの地域の災害リスクなどを確認しておくとともに、自治体や気象庁が発表する防災情報を活用して、早めの避難を心がけましょう。

地域の災害リスクを確認

川棚町 洪水・土砂災害ハザードマップ



避難の方法や経路等についても日頃から確認しておきましょう。

ハザードマップはここから



「避難情報」と「とるべき行動」

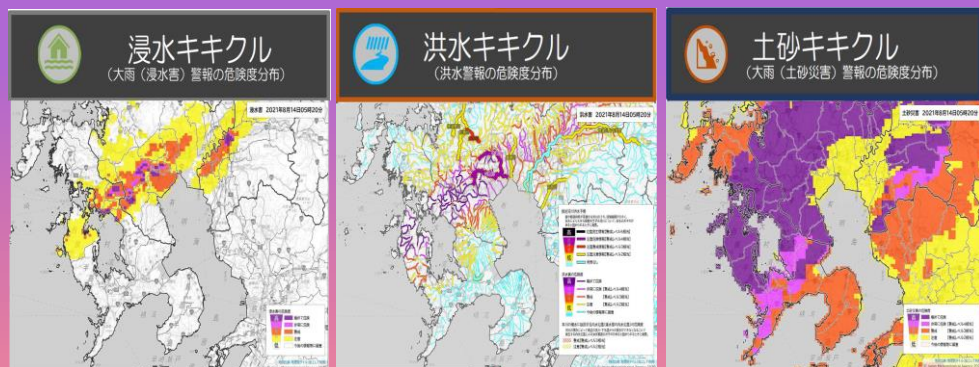
警戒レベル	状況	とるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）
5	既に災害が発生又は切迫	直ちに身の安全を確保	緊急安全確保 市町が発令
警戒レベル4までに必ず避難！			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 市町が発令
3	災害のおそれあり	避難完了に時間のかかる人とその支援者は避難	高齢者等避難 市町が発令
2	気象状況悪化	避難に備え、自らの避難行動を確認	洪水、大雨注意報 気象庁が発表
1	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況の悪化に備え、災害への心構えを高める	早期注意情報 気象庁が発表

内閣府「避難情報に関するガイドライン」を一部加工して作成

防災情報の活用

気象庁や長崎県では、災害の発生危険度や河川の状況等に関する防災情報をリアルタイムで発信しています。

気象庁 キキクル(浸水害・洪水災害・土砂災害の危険度分布)



出典:気象庁

災害の発生危険度を5段階の色で視覚的に確認することができます。

キキクル



長崎県河川砂防情報システム(NAKSS)

避難行動の目安 川棚川(山道橋)観測所

- 氾濫危険水位 4.50m
- 避難判断水位 3.80m
- 氾濫注意水位 2.00m
- 水防団待機水位 1.60m
- 河川水位
- 欠測



最新の河川の状況や土砂災害危険度情報を確認することができます。

NAKSS
川棚川(山道橋)



【警戒レベル4相当】
紫色([洪水]氾濫危険水位、[土砂災害]危険)に達する前に安全な場所へ避難しましょう。

【警戒レベル4相当】
紫色(危険)に達する前に安全な場所へ避難しましょう。

石木ダムに関する住民説明会を開催しました

4月20日（日）及び6月1日（日）、川棚町中央公民館において、「石木ダムの技術的な疑問等に対する説明会」を開催し、いずれも約150人の参加がありました。

4月20日は、主に「川棚川における治水計画」や「ダム予定地の地盤」について、6月1日は、「環境への影響と対策」や「地元の同意」などについて、皆様の疑問にお答えしました。



令和7年4月20日（日）説明会



令和7年6月1日（日）説明会

質問及び回答（一例）



気候変動を踏まえて、石木ダムの必要性和安全性を説明しなければ、住民の理解は得られないのではないか。

- ・激甚化・頻発化する降雨から、住民の安全・安心を確保するために、洪水のピークを小さくしたり遅らせたりする洪水調節機能を有するダムは、非常に有効と考えています。
- ・その観点から、石木ダムは、川棚川の治水計画に必要不可欠なものです。
- ・一方、気候変動を考慮した河川整備基本方針の考え方については、「近年、大規模な水害が発生した際の洪水流量が、現行の河川整備基本方針で定める基本高水を上回った水系から、順次、河川整備基本方針の見直しに着手する」と国が示しておりますが、長崎県内においては、近年の洪水流量が、基本高水を上回った水系はありません。
- ・川棚川流域では、ハード・ソフト両面からの一体的な取組の一つとして、ダム施設で対応できない想定最大規模のような洪水に対しても、事前放流による治水容量の確保やハザードマップの活用、防災訓練等による減災対策に取り組んでまいります。



環境影響評価の結果を踏まえた環境保全措置は十分といえるのか。

- ・長崎県環境影響評価条例に基づき、大気環境(大気汚染、騒音、振動など)への配慮、水環境(水質など)への保全措置、生物に係る影響(動物、植物など)への保全措置、人と自然・文化的環境(景観、歴史的文化的環境など)への配慮、環境負荷(廃棄物)への配慮について、環境に及ぼす恐れがある影響が、事業者により実行可能な範囲で、できる限り回避、又は低減されており、必要に応じその他の方法により環境への保全についての配慮が適正になされていると環境影響評価書において評価されております。
- ・これまでに現地で確認された、植物8種、昆虫1種、底生動物3種について移植や生息環境の保全などを実施し、毎年、事後調査も行っております。これまでどおり、適切に環境保全措置を実施していきたいと考えております。

「水のわ」に関して、ご質問やご意見等がありましたら、下記連絡先にお寄せください。

石木ダム建設事務所 電話 0956-82-5109
長崎県土木部河川課 電話 095-823-3280